

和合

No.135
2020. 7. 15

題字 三浦修次

主な掲載記事

和合探訪2
わたしが描く和合の里5
季節の郷土料理6
和合の里INFORMATION...8

はやぐおっきぐなれの〜！ ...3
わたしから見た和合の里5
人生100年時代7

よつぱつこ通信4
畑にこんにちは6
わごう駐在所7

和合探訪

和合のルーツ
ここにあり！

新田目編

◆参考資料

『余目町史』 余目町 発行

『十六合史』

十六合地区総合振興協議会 発行

『庄内町の文化財』

庄内町教育委員会 発刊

村のはじまり

余目町史によると、元和8年（1622年）の創基とし、昭和46年（1971年）4月17日、350年祭が行われました。祖先は温海郡から最上川を越えて来たという説があるほか、草分けは今川藤左衛門という伝えもあります。明治9年（1876年）10月、三ツ口村と合併しました。

◆三ツ口村とは・・・

寛永3年（1626年）に村立てをしました。寛文9年（1669年）に行われた検地には7名の名があります。立地条件には恵まれましたが、面積が狭かったため入作者達は逐次村を離れ、明治に入ると村独立は困難な状態となりました。

◆村高

寛文9年（1669年）に行われた検地によると、新田目には、田畑合わせて11町6歩あり、石高は138石3町6合（およそ24,900Kg）だったようです。個人毎の平均反別は9反歩程度でした。

三上神社

新田目の三上神社は元和年間（1615年～1624年）の創建と伝えられています。元和8年（1622年）最上の工藤村から住居地を求め、開拓事業を起こすにあたり、用水の必要を感じ井戸をほろうとしたところ老杉の樹下を掘ったところすぐに御神体がでてきたため、お堂を建立して、そのお堂に安置したといわれていますが、当時の記録もないため確認が得られていません。また、現存の神社棟札には文化7年（1810年）8月奉再建とあるため、これをみると創立後年久をもって大破し、再建したと思われます。



三上神社の鯨口

庄内町の文化財

鯨口とは仏堂の正面軒先に吊り下げられた仏具の一種です。青銅製のもので、制作年代は、江戸時代中期と推測されています。

はやぐおっきぐなれの～!

- ① 未来に大きく羽ばたいてほしいという願いを込めて・・・未来
- ② いないないばあの音がすると直ぐ振り向いて集中!! 大人が構ってもキャッキャッ笑うけど、お兄ちゃんが近づいたり、立っていたりするだけで大爆笑します 😄
大声を出して沢山お喋りする事にはまっています 🗨️
- ③ 家族以外で人見知りをしたり、見た事の無い所へずっと居ると場所見知りをしたりします!!



みくる
小林 未来ちゃん

(南野)

令和元年 10 月 31 日生まれ

パパ：洋平^{ようへい} ママ：希望^{のぞみ}



- ④ 寝たと思いきやご飯を食べ部屋のドアを開けると寝返って満面な笑みでお出迎え。必死に寝かせようと、おしゃぶりをくわえさせたり、両手に物を持たせたりあらゆる物を装着します。(笑)
- ⑤ お兄ちゃんみたいに優しく、元気で丈夫で活発な男の子になってね 😊💖



りこ
鈴木 莉心ちゃん

(前田野目)

令和元年 9 月 21 日生まれ

パパ：健太^{けんた} ママ：咲子^{さきこ}



- ① 花のように可愛らしく、明るく元気な子に育ってほしい。そして、優しい心を持った子になってほしいと願い、命名しました。
- ② 最近ズリバイが上手になり、にこ(愛犬)のサークルまで行ってみたり、お互いのおもちゃがほしくて、じゃれ合ったりしています。
目は離せませんが仲良く遊んでいて微笑ましいです。



- ③ 背中スイッチが敏感です。
日中抱っこしながら寝てしまう時、布団に置こうとした瞬間体を反りながら激しい泣きっぷりに思わず笑ってしまいます。
- ④ 夜 1 人で寝室に寝かせしばらくしてから寝室に戻ると、泣かずに起きてコロコロ転がりベットの落ちそうになっていた。危機一髪キャッチできてよかったです。
- ⑤ 毎日元気いっぱいの笑顔を見せてくれてありがとう!!
これからも莉心のペースですくすく成長してね 💖



Q1 名前の由来は? Q2 今一番の興味やハマってることは? Q3 最近記憶に残ったエピソードは?
Q4 パパママの失敗談(子育てあるある) Q5 パパママからのメッセージ



余目第四幼稚園

よつばっこ通信

🍀 令和2年度！ 第四幼稚園 スタート！！

今年度は、5月から本格的に園生活がスタートしました。新入園児が男の子12名、女の子9名、計21名が入園、年長児は22名、全園児43名のあふれる笑顔、元気な声が響いています。入園してから一か月が経とうとしていますが、年中さんも年長さんも目をキラキラさせて、自分から、やりたい遊びを見つけられています。

砂や水、泥んこ！草や花、小学校の山からもごろごろ転がっている子ども達！五感をフル回転させて、体をいっぱい使って夢中になって遊べる子になってほしいです。

新型コロナウイルス感染症の影響で一学期のいろいろな行事は中止になってしまいましたが、日々の遊びの中で、子ども達の心揺さぶる体験をたくさんして、たくましく育ってほしいと思っています。地域の方々との交流も今は、我慢の時ですが、今年度も第四幼稚園の子ども達を、どうぞよろしく願いいたします！

心がほっこりする💖 ぷぷ！と笑顔になる“せんせいあのね”を、今回は、たっぷり紹介いたします！

🍀 せんせいあのね

①お米植えているのは？

畑に水をあげながら・・・

R児「Rんちの畑でも野菜作ってるよ」

Y児「Yの家はお米植えてるよ」

先生「誰植えてるの？おじいちゃんかな？」

Y児「違う・・・機械」

先生「あーーーー。そっかーーーー。確かにねえー笑」



②小学校の山から田んぼを眺めて

A児「いい景色だねー」

B児「ベートーベンみたいだなー。ジャジャジャジャーン♪」

よく知ってるね！感心 感心・・・



③バランスボール

N児「私の家にバランスボールあるの」

先生「そっかー。Nちゃんがしてるの？」

N児「ママがしてるの」

先生「へー」

N児「最近してないけどね・・・」

((´▽`)) 笑笑 見られてますねえ・・・



わたしが描く和合の里

ぼくが住む和合の里は、自然がいっぱいきれいです。年れい関係なく仲良く遊んでいます。季節がかわっても、外は自然がいっぱいきれいです。大人になっても、きれいな自然と、みんなの元気がずっと続いてほしいです。



〔吉方〕 上野 里央

〔小出新田〕 齋藤 瑠菜



私が好きな和合の里は、地域の人が登下校の時に、笑顔であいさつしてくれるところです。それに、登校の集合場所に毎日来てくれる人がたくさんいて安心して学校に行けます。これからも地域の人が笑顔であいさつしてくれる和合の里を残して行ってほしいです。

自然がいっぱいあって、みんながみどりを大切にする和合の里にしてみたいです。田植えなどがさかんで、毎年秋になると米をたくさん収穫できます。米どころの「和合の里」がもっと有名になってほしいです。悪いことをする人が全然いない、平和な和合の里をずっと残していきたいです。



〔廻館〕 梅木 冬真

〔西袋〕 伊藤 優羽



私が好きな和合の里は、明るいあいさつが気持ちよくて、地域の人や友達がやさしいところです。そして元気で仲良く遊べる和合の里や田んぼや山の景色がきれいな和合の里が好きです。これからも笑顔あふれる和合の里にしてほしいです。

わたしは、のどかで自然がいっぱいの和合の里が好きです。特に、5月ごろの田んぼが好きです。田んぼの水が光に反しゃして、木などの自然がいっぱい映っていてきれいだからです。これからも自然がいっぱいで笑顔あふれる和合の里でいてほしいと思います。



〔京島〕 志田 心愛

わたしから見た和合の里

お世話になりました

余目の小学校に異動と聞いた時、冬季の通勤がすごく不安でした。でも、大きな直線道路が続く通勤路は、夏場も冬場も快適でした。

四小の児童に思ったのは、そのスタイルの良さです。はやりの小顔で手足が長く、まるでアイドルなみの格好良さに見とれました。また、その運動能力の高さにも驚きました。一番は走るのがとても速い児童が多いことです。すらりと伸びた長い足で、さっそうと走る姿に惚れ惚れしました。余目四小学区に流れる水は、他とはきつと違うのだろうと思います。

さすがに米所、給食の時間に、わが家ではなかなか食べられない「つや姫」を毎日食べてるという話を聞いた時には、本気でうらやましかったです。なんの障害物もなく広がる田んぼに、本当の庄内平野のすごさを感じました。

そして、厚い民情です。おらほの小学校に寄せる地区民のみなさまの心を感じることが多かったように思います。和合の心をこれからも大切にしていただけたらと思います。大変お世話になり、ありがとうございます。

前庄内町余目第四小学校

教諭 長谷川 光先生



畑にこんにちは!

浅井 多一さん (沢新田)



梅雨入りが発表された6月11日、天気が良く風が心地よいなか、今回取材に伺ったのは沢新田の浅井多一さんの畑です。

はじめに驚いたのが、3ヶ所ある浅井さんの畑はどこもほとんど雑草がなくきれいだった

ことです。毎日決まった順番で畑仕事をすると疲れもなく、効率よくできるとのことでした。

畑にはたくさんの枝豆を植えられて甘露、尾浦など計6つの品種を育てているそうです。先日植えた枝豆は日照りで弱ったので慌てたが、まんべんなく水かけをして復活させたとのこと。



枝豆を植えるときは2本植えにすると実入りが良くおいしい枝豆ができると教えていただきました。収穫時期になると朝どりの枝豆で飲むビールが楽しみとのことでした。

また、枝豆の収穫が終わった畑に青菜を植えると秋はやくに収穫できるので、漬け物にして楽しむそうです。

枝豆と青菜のほかには茄子、トマト、にんにく、からどり芋、さといも、じゃがいもなどたくさんの種類の野菜とほうききびやコキアなどの植物も育てていてトマトは早くも実が大きくなりはじめ、ほうききびは青々としておりどれも立派に成長していました。

収穫したほうききびでほうきを作ることや茄子等で保存食を作ることが待ち遠しいそうです。たくさん収穫できた野菜は親戚や友人に配っているとのこと。たまに友人から野菜の催促の電話がある。と楽しげに仰っていました。



季節の郷土料理



きゅうりの佃煮

◆材料

きゅうり	1 kg
塩	大さじ3～4
生姜	適量
赤唐辛子	適量
☆しょうゆ	大さじ2½
☆砂糖	大さじ5
☆みりん	大さじ1
☆酢	大さじ4
塩昆布	120g
白ごま	少々

◆作り方

- 1 きゅうりを5mm位の輪切にする。
- 2 1に分量の塩を混ぜ一晩漬ける。
- 3 2のきゅうりをしっかり絞る。
- 4 ☆の調味料に、3のきゅうり、生姜のせん切り、赤唐辛子の薄い小口切りを加え、強火で炒り煮にする。
- 5 汁が少なくなったら、火を弱め、箸でかき混ぜながら水気を飛ばす。
- 6 5の汁がなくなったら火からおろし、塩昆布を入れて味を含ませる。

◆ワンポイント

※一晩漬けたきゅうりはぎっしりと絞ると、パリパリした佃煮になる。

※古漬けきゅうりの塩抜きしたものでもできる。

<保 存>

※冷凍で保存し食べる時は自然解凍する。

人生100年時代

庄内町保健福祉課
主査兼高齢者支援係長

長南 ゆかり



～こんな時こそ“通いの場”へ、
『三密（密閉・密集・密接）を避けて』外出しましょう～

『新型コロナウイルス』、このような事態は誰も想像していませんでした。国内でも治療薬や検査方法の研究が進められていますが、収束まで1年以上かかると多くの専門家が予測しています。また、新しい生活様式の基本の一つが『三密（密閉・密集・密接）を避ける』ことです。

1. 外出時はマスク、帰宅時はせっけんによる丁寧な手洗いとうがいが必要です。
2. 買物は①混雑する時間帯を避ける、②社会的距離（人との間隔）を1～2メートルあける、③短時間で済ませるよう買物メモを持参することをお勧めします。

町の皆さんは、現在どのような毎日をお過ごしでしょうか。外出自粛のため、《生活不活発による身体機能の低下》が心配されています。町も広報折込で“自宅で簡単にできる体操”等を紹介し、地域で『いきいき百歳体操』等“通いの場”が再開すると聞いては足を運び、皆さんを応援しています。いつまでも家に閉じこもってばかりでは、筋力が衰え、身体が弱ってしまう恐れがあります。マスク着用で身近な集落の“通いの場”に出かけ、身体を動かしましょう。

問合せ先 高齢者支援係 ☎43-0490

「amazonギフト券」等を コンビニで買わせる 特殊詐欺に要注意！

わごう駐在所

庄内警察署
佐藤 正人
(第四学区担当)



特殊詐欺で犯人から指定される料金の支払い方法は、数十万円分のギフト券をコンビニで購入させ、裏面のギフト券番号をメール等で相手に伝える、という方法が現在の主流です。

例として、画像のカードがよくつかわれる「amazon ギフト券」です。

他にも「iTunes Card」、「楽天ポイントギフトカード」等があります。

このカードの仕組みは裏面にスクラッチ部分があり、ここを削るとギフト券番号が出てきます。この番号をインターネットで入力すると、ギフト券の金額が自分専用ページにチャージ（入金）されます。

なぜこれが使われるかというと

- ①受け取りに金融機関の口座が不要
- ②一度インターネットに入金されると返還・追跡が困難
- ③直接取りに行く必要がない

以上の理由から犯人に繋がる証拠も残りにくく、容易に現金化できるのでギフトカードが悪用されています。

・特殊詐欺メールを受信した時の対応

- ①身に覚えのないものは完全に無視！
- ②記載されている連絡先にこちらから連絡してはいけません！
- ③支払う前に必ず確認・相談！



由 右工門ほうき伝承の会

由右工門ほうきとは古閑部落に古くから伝わるほうきです。生活の中で自分たちが使うほうきを冬の手仕事として作り続けてきました。近年その技術を伝承する人が少なくなってきました。そこでその優れた技術を未来につなぐため、平成26年に「由右工門ほうき伝承の会」が発足されました。

6月中旬はほうきの原料となるほうききびが青々と成長する季節です。由右工門ほうき伝承の会では毎年収穫したほうききびで由右工門ほうきを作り技術の伝承をしています。使いやすく、軽さが特徴の由右工門ほうきはこれからも和合の里のお宝として受け継がれます。



放 課後子ども教室「わごうの広場」はじまりました

新型コロナウイルスの影響で開催を延期していましたが、放課後子ども教室「わごうの広場」が6月10日からはじまりました。今年度は98名の参加申し込みがありました。

放課後子ども教室「わごうの広場」では主に自由遊びと自主学習の活動をしています。自由遊びでは元気いっぱいグラウンドを走ったり、真剣な目つきでドッチボールをしていました。



また、自主学習では集中して宿題をする児童がたくさんいました。これからも新型コロナウイルス感染防止に努めながら活動をしていきます。

放課後子ども教室「わごうの広場」ではご協力いただけるスタッフを募集しています。興味のある方はお気軽に余目第四公民館までお問い合わせください。

編集後記 新しい生活様式

新型コロナウイルスの感染防止として「新しい生活様式」が公表されました。その実践例として三密（密集、密接、密閉）を防ぐこと、手洗い・手指消毒、マスクの着用、咳エチケット、レジに並ぶときは間隔をあけることなどが推奨されています。だんだん気温が高くなって気が緩みがちになりますが、暑さ対策をしつつ、感染防止に努めましょう。